

2 履修登録にあたっての注意事項

◎履修は必ず全員が登録または確認をすること（休学者を除く）。

●当該学年の必修科目のみ履修する場合でも必ず確認すること。

【履修登録の手順】

※用意するもの

筆記用具・講義要項（WEBシラバス）・学生生活ハンドブック・履修のてびき（時間割）・情報関連設備利用許可証等

- (1) 学生生活ハンドブックの学科別配当科目一覧を開き、自分の学科の科目や単位数などの確認をする。
- (2) 卒業要件である124単位を修得することを念頭に入れ、1年間で修得する単位の目安を各自考える。
- (3) 授業の内容や評価方法などの詳細は講義要項（最新情報はWEBシラバス）を確認する。
- (4) 履修のてびき22ページから記載してある学科・学年別時間割を確認する。
- (5) 履修のてびきの最終ページにある記入用の授業時間割に自分の該当する「必修科目」を記入する。
- (6) 上記(5)の後、空いている時限に自分が履修登録したい「選択科目」を記入し、授業時間割を完成させる。
- (7) 履修希望科目の開講番号（4桁の数字）を上記(6)で作成した授業時間割の開講曜日・時限欄に記入する。
- (8) 履修登録期間（2ページ参照）に、学生ポータルサイトからWEB履修登録ページへアクセスし、履修登録（入力）を行う。
- (9) 履修登録した科目を後で確認できるように必ず書き留めておくこと。

【履修登録する際の注意事項】

下記の科目は自動登録します。

[I] 自分の学年（正規履修）の必修科目（分野別・必修科目を含む）はすべて自動登録

※ 編入生（3年生）は対象外のため自分で履修登録すること

[II] 特別講義（三）・（四）（選抜対象者確定後に登録）

[I]について、**再履修者並びに復学・原級・再入学・編入学・転学部・転学科及び過去に休学した者は自動登録されませんので各自で開講番号を確認の上、履修登録をすること。**

[II]についての詳細は5ページの「特別講義について」を参照のこと。

【再履修科目について】

(1) 再履修について

●再履修とは一度履修した授業科目のうち、不可（D）または未評価（F）になった授業科目を再度履修することです（他学科・他学部聴講科目、教職・学術情報課程の科目を再度履修する場合も同様）。

(2) 再履修の登録について

●履修登録する科目が再履修科目であるかどうかは各自学生ポータルサイトの成績台帳で確認すること。

- 必修科目であっても、再履修の場合は自動登録されませんので、必ず自分で履修登録をすること。
- 履修が確定した時点で再履修料の支払い義務が発生するので注意して登録すること。

(3) 再履修料の納入について

●再履修登録料は1科目2,000円です。

※再履修有料例外科目を除く全授業科目について再履修料がかかります。

再履修有料例外科目（無料）

●特別講義（一）～（四） ●卒業論文 ●教育実習 I II
●博物館実習 ●原級学生の当該学年再履修科目

【再履修料の納入方法について】

- ①再履修科目を受講する学生は「再履修料証紙貼付用紙」を学生ポータルサイトからダウンロードしてください。
- ②学生サービス課カウンター前「証紙券売機」で「再履修料2,000円」の証紙を該当科目数分購入して「再履修料証紙貼付用紙」に貼付し、5月27日（金）午後5時までに学生サービス課カウンターに設置されたレポートBOXに提出してください。
※証紙は「再履修料2,000円」を購入してください。「再試験料」、「各種証明手数料」などと間違えないよう十分注意してください。
※在学中に納付金額の不足が発覚した場合には、その時点で納金することを義務づけます。
※既に納金した後学期の有料科目を削除しても返金しません。
※再履修料納付期間内に納付がなかった場合、再履修科目の履修登録は取り消されます。

【履修登録上の注意事項】

◆次のとおり1年間に履修できる単位数を制限する。

◎正規履修科目（他学科聴講を含む当該学年配当科目）は年間50単位までとし、学期ごと26単位までが最大履修できる範囲である。

（例：前学期科目を26単位履修する場合、後学期科目は50-26=24単位まで履修できる）

- 通年科目（実験、実習、演習など）は単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントする。
- 単位数制限を超えて登録すると、システムが無作為に科目を選んで削除するので注意すること。制限を超えて登録した場合は、エラーとして表示されるので超過した単位数に応じて科目を削除すること。
- 登録した科目については履修確認・履修修正期間に必ず確認すること。

但し、次の科目については年間の50単位の単位数制限から対象外とする。

- 下位学年配当科目 ●教職・学術情報課程科目 ●特別講義（一）～（四）
- 特別活動プログラム（詳細は6ページ参照のこと）

◆開講番号の登録を間違えるとエラーとなるか、まったく別の科目が登録されてしまうため、履修確認・履修修正期間に必ず確認すること（履修確定後の変更は認められません）。

◆教職・学術情報課程の履修については、ガイダンス・オリエンテーション等の中でアナウンスされる指示に従うこと。

◆時間割の区分に『教職』、『学術』と表示のある科目はそれぞれ『教職課程』、『学術情報課程』の受講申込者（有料）以外は履修できない。

- ◆同時限に開講している科目は、いずれかひとつを選んで開講番号を登録すること。
- ◆2時限以上続けて開講する科目は授業開始時限にのみ開講番号を登録すること。
- ◆集中授業科目は開講学期にあわせて、時間割外科目登録欄に開講番号を登録すること。

(別途掲示または学生ポータルサイトの「平成23年度集中授業スケジュール」を参照して下さい)

- ◆通年科目は前学期授業開始時限にのみ開講番号を登録すること。
- ◆上級学年配当科目は履修できない(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ◆他学科聴講又は他学部聴講の履修登録単位は、在学中30単位を上限とする。

(合否にかかわらず、履修登録した時点(同一科目を再履修した場合は複数カウントとなる)で単位数をカウントする)

- ◆前学期に履修登録した科目について単位を修得できなかった場合、後学期に同名科目を再度履修することはできない(スポーツ・レクリエーション(一)・(二))。
- ◆生物産業学部共通授業科目「中国語(一)・(二)、ロシア語(一)・(二)」を履修する場合は、いずれかひとつの語学を選択すること(履修が確定した時点で単位修得の有無にかかわらず、もう一方の語学科目は履修することができなくなる)。

※中国語(三)・(四)は中国語(一)・(二)の単位を修得した者のみ履修できます。

※ロシア語(三)・(四)はロシア語(一)・(二)の単位を修得した者のみ履修できます。

- ◆他学科・他学部聴講を希望する場合は、各学科の時間割を参照し、希望科目の開講番号を登録すること。

- ◆必修科目でクラス分けのある科目は自動登録する。なお、原則としてクラス変更は認めない。

(4ページ表1 [クラスが指定されている科目] 参照)

- ◆選択科目でクラス分けのある科目は、クラスを選んで開講番号を登録すること。クラスが指定されている科目は、指定されているクラスの開講番号を登録すること。なお、クラス分けがある他学科・他学部の科目を履修する場合も同様とする。

(4ページ表1 [クラスが指定されている科目] を参照)

- ◆学部共通科目は他学科聴講を認めない。

(4ページの表2 [学部共通科目一覧表] 参照)

- ◆実験・実習・演習科目は他学科・他学部聴講を認めない。

(4ページの表3 [各学科配当 実験・実習・演習科目一覧] 参照)

- ◆所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は他学科・他学部聴講を認めない。

(5ページ表4 [他学科配当の同名科目一覧表] 参照)

- ◆表5に記載している授業科目は、短縮して表示することがあるので注意すること。

(5ページ表5 [授業科目名の短縮表示について] 参照)

- ◆本学では学科等の名称を短縮して表示することがあるので注意すること。

(5ページ表6 [学科等の名称の短縮表示・表示順番について] 参照)

表1 [クラスが指定されている科目]

下表にない科目は本人がクラスを選択して履修登録してください。

対象学科	科目名	対象学年及び対象者	履修登録方法	クラス	クラス分けの内容
生物生産学科	情報基礎(一)・(二)	編入生及び再履修者	各自が履修登録	a又はb	本人がクラスを選択
アクアバイオ学科	情報基礎(一)	編入生及び再履修者	各自が履修登録	a又はb	本人がクラスを選択
食品科学科	情報基礎(二)	編入生及び再履修者	各自が履修登録	a又はb	本人がクラスを選択
産業経営学科	情報基礎(一)	編入生(3年)	各自が履修登録	a又はb	本人がクラスを選択
		再履修者	自動登録		再履修クラス(hクラス) [担当: 阪井]を自動登録履修者を対象に後日ガイダンスを行いますので必ず出席すること
	簿記原理(一)・(二)	再履修者(3年)	各自が履修登録	a, b	本人がクラスを選択
		編入生(3年)	各自が履修登録	a, b	本人がクラスを選択
		再履修者及び編入生(4年)	自動登録	a	aクラスを自動登録
中国語(一)・(二)	再履修者及び編入生	各自が履修登録	a又はb	本人がクラスを選択	
全学科	英語(一)・(二)	再履修者	各自が履修登録		原則として不合格となったクラスを再履修登録
	英語(三)・(四)	編入生	各自が履修登録		編入生クラス(hクラス) [担当: 君島]を選択生物生産学科

表2 [学部共通科目一覧表]

以下の学部共通科目は自分の学科に配当されている時間割の科目以外は履修登録できません。

学年	授業科目名	学年	授業科目名	学年	授業科目名	学年	授業科目名
1	④フレッシュマンセミナー *	1	②英語(一)・(二) *	1	食品科学概論	1	バイオテクノロジー概論
1	②生物産業学概論(一)・(二)	2	②英語(三)・(四) *	1	現代社会論	1	健康科学(一)・(二) *
1	②情報基礎(一)・(二) *	3	②人間と職業	1	中国語(一)・(二) *	1	生物資源概論
1	②生物産業体験実習 *	1	現代環境論	1	ロシア語(一)・(二) *	3~4	特別講義(三)・(四) *

→ [例: 生物生産学科の学生は食品科学科配当の生物資源概論を履修登録できない。]

[学部共通科目一覧表] *印がついている科目は実験・実習・演習科目

表3 [各学科配当 実験・実習・演習科目一覧表]

実験・実習・演習科目は他学科・他学部聴講を認めない。

[学部共通科目を除く。学部共通科目については表2 [学部共通科目一覧表] 参照のこと]

配当学科	学年	授業科目名	学年	授業科目名	学年	授業科目名
生物生産学科	1	④生物生産学実験(基礎編)	2	④生物生産学実験(応用編)	3	④生物産業学演習(二)
	1	④生物生産学実習(一)	2	④生物生産学実習(二)	4	④生物産業学演習(三)
	1	④基礎生物・化学実験(一)	3	④生物生産学特別実験・実習	4	④生物産業学演習(四)
	2	④基礎生物・化学実験(二)	3	④生物産業学演習(一)		
アクアバイオ学科	1	④アクアバイオ基礎実験(一)	3	④アクアバイオ特別実習	4	④アクアバイオ専攻実験(二)
	1	④オホーツク臨海実習(一)	3	④アクアバイオ専攻実験(一)	4	④アクアバイオ演習(三)
	2	④アクアバイオ基礎実験(二)	3	④アクアバイオ演習(一)	4	④アクアバイオ演習(四)
	2	④オホーツク臨海実習(二)	3	④アクアバイオ演習(二)		
食品科学科	1	④有機化学実験	2	④バイオテクノロジー実験	3	食品産業学実習(二)
	1	④分析化学実験	2	④食品機能学実験	3	食品衛生学実験
	2	④乳工学実習	3	食品理工学実験	3	食品衛生微生物学実験
	2	④食品産業学実習(一)	3	④生物化学実験	3	食品工学演習
	2	④食品化学実験	3	④農水産加工実習		
	2	④応用微生物学実験	3	④科学英語(一)		
産業経営学科	1	④産業経営学ゼミナール(一)	2	④産業経営学ゼミナール(二)	3	④産業経営学ゼミナール(三)
	2	オホーツク産業実習	2	④産業経営学実習(一)	3	④産業経営学実習(二)
	2	生物産業学基礎実験				

※産業経営学科の「中国語(三)・(四)」、「ロシア語(三)・(四)」と国際農業開発学科の「海外農業実習(一)・(二)・(三)」は例外として認める。